

令和2年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 財 務 部 長 権代 徹也
 (TEL. 03-4540-3804)

2020年4月次 月次概況（速報）のお知らせ

2020年4月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	436	430	438	446	552	397	411	293	432	506	450	1,077
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475	60,432	87,717	163,604
外国為替取引口座数 (単位：口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443	339,790	340,014	340,483
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183	69,788	66,290	65,510
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072	64,763	61,596	62,895
金融法人（B to B）	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363	4,770	4,847	5,111	5,025	4,693	2,614
マネパカード口座数 (単位：口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101	158,861	159,676	160,307	161,324	162,167	162,655

年 月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	407											
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	82,072											
外国為替取引口座数 (単位：口座)	340,605											
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,460											
一般顧客	60,227											
金融法人（B to B）	2,232											
マネパカード口座数 (単位：口座)	162,828											

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 4月次の概況 >

4月の外国為替相場は、米ドル／円については、値幅が10円を超えるボラタイルな展開となった3月とは対照的に106円台前半から109円台前半と3円程度の狭いレンジでの値動きとなりました。1ドル＝107円台半ばで取引が始まり、サウジアラビアによる協調減産に向けたOPECプラス緊急会合の呼びかけによる原油の上昇や欧州中心に新型コロナウイルス感染者数の増加ペースが緩やかになったことからドルが買われ6日には109円台前半の高値を付けました。その後は原油相場や新型コロナの動向を注視しながらの相場展開となり、14日以降は107円近辺から108円近辺と非常に狭いレンジでの推移となりました。月末にかけては、27日の日銀政策決定会合でサプライズがなかったことからドル安が進行し、29日には106円台前半の安値を付け、107円台前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、米ドル／円と同様、落ち着いた値動きとなり、外国為替相場の変動率は、全体としては2月とほぼ同水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は前月比50%減少の820億通貨単位となりました。収益性はマーケットが落ち着きを取り戻したことから平常に戻り、この結果、営業収益は前月比62%減少の407百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比122口座増加の340,605口座、マネパカード口座数は前月比173口座増加の162,828口座となりました。外国為替取引預り証拠金は、1月に大幅に増加した一般顧客からの反動減に加え金融法人からの減少もあり、全体では3,050百万円減少の62,460百万円となりました。